

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	1302	河合地区排水処理施設維持管理経費	会計	11	公共下水道事業特別会計
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	款	01	事業費
			項	01	施設管理費
			目	01	施設管理費
担当部課名	阿山支所 産業建設課 下水道室			細目	101
作成者氏名	葛原 吉彦	連絡先	0595-43-1486	細々目	05
					河合(阿山)地区排水処理施設維持管理経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	河合処理区の受益者	成果(どうなるのか)	施設の良好な維持管理を行うことにより、公衆衛生の向上、公共用水域の保全が図られ、良好な自然環境、快適な生活環境のなかで暮らすことができる。
	本年度事業内容	処理施設の維持管理及び施設使用料の徴収事務 排水設備等計画確認申請の審査、完了検査の実施		
運営主体	直営 (委託先: 伊賀支所(一部))	指定管理 民間委託等	根拠法令・要綱等	下水道法、伊賀市公共下水道条例、同管理規則
市内の類似施設	新都市浄化センター、産業汚水処理施設、島ヶ原浄化センター			

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	1	1	1
	人件費合計(A)	7,200	7,200	7,200
支出内訳 (千円)	事業費(B)	3,040	4,934	9,121
	委託料	2,929	4,834	9,001
	その他	111	100	120
	合計(A+B)	10,240	12,134	16,321
財源内訳 (千円)	特定財源	国県支出金		
		受益者負担		
		使用料	381	2,018
	その他特財		2,916	4,411
一般財源	9,859	7,200	7,200	
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
施設維持管理(委託)	式	1	1	1			
排水設備等計画確認申請および完了検査件数	件	16	31	45			
水洗化戸数	戸	16	31	45			
賦課件数	件	28	78	142			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
適正工事件数割合 (適正工事件数/検査件数)	排水設備工事の無届、不適切な工事の横行が懸念されるため、設置工事が適正に行われるよう指定工事店制度を設け、指導することが必要である。	%	100 目標 (100)	100	100
徴収率 (徴収額/調定額)	施設の管理・運営については健全経営のために施設使用料の徴収の必要性が大きいことから、徴収率を上げる目標は指標となる。	%	96.8 目標 (95)	95.0	95.0

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

河合処理区は、平成13年度から特定環境保全公共下水道事業として実施、このうち円徳院、川合、田中、馬場、阿山ハイツ、東山タウン、千貝、馬田地域を第一期事業地域として取り組んでいます。また、平成14年度から西部処理区「せせらぎ浄化センター」共同処理場の建設に取り組み、処理場の第1期工事が平成16年3月に完成、4月から供用開始、第2期工事も平成17年8月に完成したことから、順次管路工事を進めてきた円徳院地内の一部で平成17年12月供用開始、ひきつぎ平成18年10月にも供用開始を予定している。今後は、早期に管路工事による面整備率を上げることで供用開始区域を広げ使用料収入による健全経営を目指すべきと考えます。

評価	必要性	4	公共下水道は、将来ますます整備拡大する必要があり、それに伴って対象施設も増大してくるものと想定される。また、老朽化した施設が今後も増大し、設備の延命化を図るとともに、計画的な補修、改築を行っていく必要がある。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		